

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果

学校名 唐津市立厳木中学校

達成度(評価) A:十分達成できている B:おおむね達成できている C:やや不十分である D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・充実した取組が行われているが、今後もさらに工夫して全職員で子どもに寄り添った指導を実施していきたい。特に、学習面については、授業への意欲がある生徒が多いが、基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力については、十分とはいえない。
・今年度より小学校と併設したことを機会に、小中で継続した学習指導や家庭学習を行い、更なる学力向上つなげていきたい。また、生活面でも小学校と連携した取組を充実させ、子どもたちの自己肯定感を高める手立てを工夫して行きたい。

2 学校教育目標 夢にむかって 学び続けようとする 子どもの育成 ～地域とともに 未来を拓く 厳木小中学校～

3 本年度の重点目標
・「学力向上」 小中併設校として9年間の系統性を意識した授業展開や発達段階に応じた課題の工夫に取り組み、生徒の学習意欲の向上を図る。
・「社会性の育成」 生徒一人ひとりが活躍できる場面を設け、出番、役割に対する承認を意識した教育活動の展開を通して、生徒の自己肯定感や自己有用感を高める。
・「特別支援教育の充実」 個に応じた支援の実践とユニバーサルデザインの観点を踏まえた環境整備

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
評価項目 取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 最終評価(実施結果) 学校関係者評価(意見や提言)
●学力の向上
○校内研究及び校内研修の充実
○家庭学習を充実させるための取組
○生徒の学習状況や課題の把握
○「知識・技能」の定着を目指した取組
○「思考・判断・表現」の向上を目指した取組
●心の教育
●①児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動
●健康・体づくり
●業務改善・教職員の働き方改善の推進
●特別支援教育の充実

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 最終評価(実施結果) 学校関係者評価(意見や提言)
○生徒会活動の活性化
○地域連携

5 総合評価・次年度への展望
・学力の向上については、各学年の家庭学習目標時間達成率が学年が上がるごとに低くなっているため、家庭学習の充実が喫緊の課題である。生徒会と連携し、Qフレndsなど家庭学習を充実させる取組を行っているが、今後も継続して取り組んでいくこと、Qフレndsをさらに家庭学習の意欲向上につなげることができるとの改善に取り組んでいきたい。また、一人一台端末も効果的に活用していき、学習意欲の向上につながる各教科の課題の工夫にも取り組んでいきたい。
・心の教育について、「学校が楽しい」「自分のよいところが認められている」の項目では、肯定的な回答が90%以上で、生徒に寄り添った取組や自己肯定感・自己有用感を高めるための取組が展開できていると考える。教育相談や道徳教育をより充実させ、全職員で心の教育への取組を継続して行っていきたい。
・アンケート結果から、生徒会活動の活性化や地域連携においては、おおむね今年度の取組の成果が出ていると考えられる。来年度も生徒の主体性を育む取組を継続して行い、家庭や地域と課題を共有し、学校教育活動を進めていきたい。